

会 議 録		令和 7 年 7 月 10 日 作成	令和 11 年 3 月 末 日 廃 棄
会議名	京都府山科警察署協議会（令和 7 年度第 1 回）		
開催日	令和 7 年 6 月 30 日（月曜日）		
時 間	午後 3 時から午後 4 時 27 分までの間（87 分）		
場 所	京都府山科警察署 署長室		
出席者	山下（恒）会長、井内副会長、三谷副会長、樋口委員、有本委員、角田委員、 柴田委員、山下（直）委員、東委員、池田委員 （欠席 山下（明）委員、西村委員、園部委員） 計 10 人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、 交通課長、警備課長、広聴相談係長、生活安全係長 計 11 人		
諮 問 事 項	1 人身危機事案への警察の対応について 2 山科警察署管内の犯罪情勢について		
会 議 内 容	1 会長挨拶 司会 副署長 2 署長挨拶 3 協議 司会 会長 諮問事項説明 (1) 人身危機事案への警察の対応について～生活安全課長 (2) 山科警察署管内の犯罪情勢について～生活安全係長 【委員】 区役所としても国際電話利用休止の取組については、警察と連携して行っ ていきたいと思っている。 通話録音機能付き電話については、区役所も募集しており、順調に応募し ている。 【委員】 ストーカーの行為者が再犯することはあるのか。 【警察】 再び罪を犯すことがあるので、一定の条件の下で再犯対策をしており、ス トーカーの行為者にカウンセリングを紹介したりしている。 何度かカウンセリングを受けた行為者から、「自分を振り返ることが出来 た。」と言われたこともあり、一定の効果は認められる。 【委員】 ストーカーの再犯率はどのくらいになるのか。 【警察】 統計はないが、過去にもストーカーをしていたと話す行為者は多く、性質 によるものと思われる。 【委員】 過去に別の人に対してもストーカーをしていたということか。		

【警察】 そのとおりである。対象を変えてストーカーをする。

【委員】 年頃の娘がいるので心配をしているが、ストーカーなど、どの程度の行為から相談に応じてもらえるのか。

【警察】 場合によっては対応出来ない相談もあるが、交際の解消に応じてもらえないなど、不安に思うことがあれば、程度を問わず相談してもらえばいい。

【委員】 ストーカー行為をするのは、過去に自分が受けた虐待やトラウマなどの影響によるものか。

【警察】 ストーカーが虐待やトラウマの影響によるものとは一概には言えないが、児童虐待の行為者は、過去に自分が虐待を受けていた者もいる。

ストーカー行為は心的な性質に依るものと思われ、典型的な例としては、相手が自分のことを好きだと思い込んでいる。

行為者を逮捕して、「相手は行為者のことを好きではない。」と何度説明しても信じてくれずに再犯に及んでしまうケースがあり、程度の差はあるが、その特異な性質が影響していると思われる。

【委員】 会社でも似たようなケースがあり、新入社員に挨拶をされると、自分のことを好きなんだと勘違いして、いつも同じ電車で帰ったり付きまとったりする人がおり、何度注意しても「あの子は俺のことが好きなんだ。」と言って、勘違いしている。

【委員】 ストーカー行為者が、凄惨な事件を起こす理由は何か。

【警察】 急にスイッチが切り替わり、自分のことを好きでいてくれていると思っていたのに、実際は好きではないと分かった瞬間、裏切られたと思い、愛情が憎しみに変わって凄惨な事件を起こすケースがある。

よって、行為者を逮捕後、再犯防止に全力を尽くしている。

【委員】 国際電話利用休止の取組については、いい施策であり広めていきたいと思う。

【警察】 代理申請は出来ないので、警察官の面前で書類を作成する必要があり、町内の会合等、一定の人数が集まる機会に声を掛けてもらえば、生活安全課員を派遣するよう前向きに検討する。

【委員】 犯罪の面識率について説明を受けたが、先日、当校の女子生徒がアルバイトから帰宅中の夜の10時頃、暗がりですぐに男性に後ろから抱きつかれ、大きな声で「止めて。」と叫んだが、抱きかかえられて連れて行かれそうになった事件があった。

これは面識のない者の犯行であるが、どのような対策があるのか。

【警察】 防犯ブザー等を利用してはどうか。

警察としては受持交番と情報共有し、よく似た人物を見れば110番通報をしてもらい、すぐに対応出来るようにするなどの対策をとる。

【委員】 犯罪者は、家族構成などを調べた上で犯行に及ぶと聞いたことがあり、女子生徒の家族構成などが知られているかもしれないと思うと怖い気がする。

【警察】 警察としては、犯行時間帯のパトロールを強化するなどの対策を講じているところであるが、現在のところ、同種事案の発生はない。

会 議 内 容	【委員】 ストーカーで逮捕された場合、どれくらいの期間で社会復帰するのか。 社会復帰してから仕返しをされることもあるのか。 【警察】 ケースバイケースであり、懲役に行く者もあれば、20日ほどで社会復帰する者もいる。 社会復帰する場合には、被害者の方にその旨を連絡して対応している。 【委員】 以前、娘が帰宅途中に後を付けられたことがあり警察に通報したところ、その時間帯のパトロールを強化すると言って、パトロールをしてもらった。 女性によるストーカーもあるのか。 【警察】 女性によるストーカーも結構多いが、凄惨な事件を起こすのは統計上男性の方が多い。 【警察】 ストーカーとは主旨が異なるが、SNSの普及により出会いの場が増え、いろいろな人と知り合える反面、女子高生が悪い大人とつながることもある。 そのような大人から言葉巧みに裸の写真を送らされたり、今度はそれを逆手に取って性行為を迫られたりすることが当署管内でも発生しているので、SNSの使い方にも注意を払う必要がある。 4 事務連絡 令和7年度第2回山科警察署協議会は、令和7年9月上旬に実施予定である。 以上
--------------------	--

第1回京都府山科警察署協議会の開催状況

